

会 議 名	和幸セントラルハウス 運営懇談会	管理者	菅井	記録者	澤谷
開催年月日	令和5年4月20日(木)				
場 所	和幸セントラルハウス 交流ホール	時 間	14:00~15:00		
会議出席者名	今村理事長、泉経理部長、明円常務理事、熊谷業務執行理事、菅井管理者、佐藤様(中央包括)、三浦様(オンブズマン)、前多様(民生委員)、佐藤様(山手町会長)、入居者A氏(入居者代表)、入居者ご家族B氏、澤谷相談員				計 11名
<p>1. 出席者紹介 ※上記参照</p> <p>2. 理事長 挨拶 お陰様で和幸園は今年、開設創立60周年を迎える事となりました。これも、共に働いてくれている職員や仲間達、利用者やご家族の方々、そして地域の皆さまのお陰でございます。コロナ禍の中で、やれる事、やれない事、その時々で線引きをしながらしっかりと線引きを積み重ねて参りたいと思っております。今日は忌憚のないご意見を頂ければと思います。何卒よろしくお願い致します。</p> <p>3. 入居状況 (令和5年 4月1日現在) <管理者より></p> <p>○入居者…48名(男性12名、女性36名) 平均年齢 87.7歳(最高年齢:100歳、最低年齢:68歳)</p> <p>○介護度内訳 自立…0名 要支援1…2名 要支援2…5名 要介護1…13名 要介護2…12名 要介護3…9名 介護4…6名 要介護5…1名 平均介護度 2.1</p> <p>○入居状況</p> <p>・11/20 男性:肺がんのステージIVの方で、在宅にいらっしゃる際は要支援2の為、入居場所がないとの事で緊急受け入れを行いました。要支援2→要介護2→要介護5と区分変更を行い、1/22に急変され、直腸がん肺転移の診断で死亡退居となっております。 御家族からは「職員の皆さんには良くして頂いて感謝しています。」と労いの言葉を頂いています。</p> <p>・12/3 女性:要支援2 東青森包括より、認知症状により在宅困難事例として状況確認の為、自宅へ伺った際に、ストーブのタンクを逆にセットしており、緊急に入居必要と判断し受け入れ</p>					

行っています。

- ・3/4 に悪性リンパ腫の癌治療中の方の受け入れを行っております。

現在は長女さんが毎日来園され、ご家族との時間を過ごされております。

- ・3/22 にコロナ感染の影響で入居をストップしていた、北海道から女性（要介護3）の方が入居されております。

○和幸セントラルハウスコロナ感染状況

11月、12月で2回、和幸セントラルハウス内でコロナ陽性者が確認され、保健所の指導のもと対応し、療養期間後解除となっております。

○現在の面会状況

- ・10/1より、条件付きで面会制限緩和を行っております。
- ・日本国内在住の方で、コロナワクチン3回目の接種証明書を ご持参頂き、2週間に1回程度居室での面会可能となっております。コロナ感染時のみ面会制限をかけていました。
- ・今後「5類」への移行に伴い、接種証明書の提示等なく全面面会解除予定です。

○和幸園の中央拠点としての取り組みについて <SDGS (Reuse リユース) >

・どなたでも利用できる本棚の設置を行い、地域の小学生や面会の友人、ご家族、デイサービスの送迎の方など、和幸セントラルハウスに来られる方が、どなた様でもご利用する事ができる本棚を設置し、どなたでも交流する事ができる場所として、和幸園の中央拠点になるよう努めていきたいと考えています。

4. 行事について

<相談員より>

新年度より、生活相談員として移動になりました澤谷です。よろしくお願ひ致します。

前年度の11月から今年度の4月まで行った行事を写真も交えてご報告致します。

秋にはお散歩がてら、近くの公園まで紅葉を鑑賞しに行きました。肌寒い時期ではありましたが、ゆっくり歩きながら色づいた木々を眺め「良い気分転換になるね。」と喜ばれていました。

新春会では、新年の訪れを入居者様でお祝いし、当法人の特別養護老人ホーム 大野和幸園の施設長を招きアンサンブル演奏会を開催致しました。

懐かしのメロディーに耳を傾けられ、楽器を直接触らせてもらうという貴重な体験をし、たくさん笑顔が見られていました。

2月には、ミルクタワー選手権を行いました。

2cmの幅に切った牛乳パックを上積み重ねて高さを競い、今回で第3回目の開催となっております。

保育園から高齢者、職員を含む法人内の全事業所が、リモートで参加され競技を行いました。

4月には、お花見ドライブを行いました。

満開とはいきませんでしたが、暖かい日が続いた為か例年より開花が早く、桜川をドライブしました。

途中車から降り、間近で桜を眺め、手を伸ばしながら触れている入居者様もおりました。

「春が来たね、嬉しいね。また来年も桜を見に行きたいね。元気でいなきゃ。」と喜ばれていました。

この他、月に1回、自法人の音楽療法士が開催している音楽クラブ『りんごの会』を行っております。

また、夏には青い森アリーナを貸し切って行う法人大運動会や、セントラルハウスで行う夏祭り、敬老会等の行事も予定しております。

<理事長より>

先程もお話した通り、今年は和幸園設立60周年でもあり、矢田の特養の敷地にリンゴの植樹を行う予定であります。

法人で行う運動会には、保育園から高齢者の方々まで幅広い年代が参加されます。

ぜひ、町会長さんやオンブズマンさん、民生委員の皆さんや包括の方々も運動会や夏祭りに参加して頂きたいと思います。

5. 入居者代表

<ご家族B氏より>

事情がありまして、今年の3月から母がお世話になっております。

母は浅虫で生活しておりました。私も浅虫で生まれ育ち、浅虫に和幸園があった事から今回セントラルハウスにお世話になるという事で、何かご縁のような物を感じています。

母は最初、施設には入りたくないと言っていました。私も兄も県外に住んでおり、高齢になった母をととても一人で住まわすのは心配だと必死に説得しました。

今は、こちらで母も落ち着いて過ごしています。家族としましても、面会制限をしている病院や施設が多い中で、セントラルハウスは自由に面会ができて家族としては嬉しいです。

職員の皆さんには大変お世話になり、お陰で母も穏やかに過ごしています。

本当にありがとうございます。

6. 出席者様より

<オンブズマン・三浦様>

月に1度お邪魔し、入居者さんとお話する機会を頂いておりますが、皆さんとてもこやかにお話してくださり、穏やかに過ごされている印象を受けています。

たまに、野菜が硬くて食べられなかったよ、というようなお話も聞きますが、笑い話の範疇だと思って会話を楽しんでおります。私はここのハウスは素敵な所だなんて思っております。

オンブズマンとして関わらせて頂くようになり、まだまだ日が浅いですが、今後共、よろしくお願い致します。

<山手町会長・佐藤様>

山の手町会の町会長を仰せつかっております、佐藤と申します。

和幸園は、私の叔父がお世話になっておりました。和幸園さんには個人的に特別な思いがあります。今日はどうぞ宜しくお願い致します。

<民生委員・前多様>

民生委員として、色々な思いがありまして、やはり昨今高齢化が進んでおります。

中央で言うと、特に4丁目のパーセンテージが高いように感じています。

ここだけではなく、地域との関りを見て共存していけるかどうかというのがいつの時代もテーマだと思っています。

ずっと一人で自宅に閉じこもっている方にデイサービスを提案しても、デイサービスなんか絶対に行かないと言う人もいます。歳を重ねると、今までの生き方、暮らし方がありますので無理強いはできない。支援について悩みは尽きません。今日は色々な意見交換をして、情報を共有できればと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

<中央包括・佐藤様>

包括として、色々な悩みを抱えている方の相談や、お宅を回らせて頂いております。コロナ禍という事もあり、高齢者施設の中の様子を知れる機会がなかなか少なく、今日は楽しみにして来ました。

高齢者の方の入居に関して見学など、和幸セントラルハウスさんにはお願いした事もありました。これからも、地域の方々の為に、連携を図りながら何かあればご相談させて頂く事もまたあると思いますので、今後共よろしくお願い致します。

<理事長>

和幸園は青森市の中央から東側に8つの拠点があります。保育園もあり、生後43日から天寿を全うするまで切れ目なくサービスをできる法人という特性を生かして、今後も地域の皆様と共に、地域の為にできる事を行って参りたいと思っています。

矢田という地域には、特別養護老人ホームやグループホーム、ケアハウスやヘルパーステーション、在宅介護支援センター等の事業所がありまして、その裏側にある土地を矢田拠点の雪捨て場がありますが、土が良いんです。そこで、春になった時に何かに活用できないかという事で、じゃがいもやさつまいも、大根や人参を育てています。うちの法人には、業務課という色々な特技を持ったプロ集団がおります。

業務課の職員たちが、土を耕し野菜を育て、収穫時期になると、保育園の子供たちやお年寄りの皆さんを招いて、大根やじゃがいもを収穫しています。それを子供達は各家庭に持ち帰って、高

齡の皆さんは、食事の時やおやつの時間に提供してりしています。また矢田町内の人のご厚意で、栗拾いに参加させて頂いたりもしています。そういう風に、地域の方と交流を深めております。なので、セントラルハウスの方も、町内の防災訓練や花壇の花植え等がございましたら、是非ともお声がけ頂き、お仲間に入れて頂ければと思います。

<泉経理部長>

今日は参加者の皆さんに、浅虫出身の方や和幸園に縁のある方の参加が見られ、永く勤めています私としても大変嬉しく、また懐かしく思っております。昔は、施設に暮らしていながらも、自由に出掛けて行かれる方が多かったです。まだ浅虫1拠点だった頃は、近くの旅館で働きながら住まわれている方も多かったですと、皆さんのお話を聞きながらそんな懐かしい思い出が蘇りました。そんな浅虫のように、ここセントラルハウスを中心にして暮らしていられる方が、今後ますます増えれば良いなという風に思っています。

<明円業務執行理事>

高齢者部門の方で、まとめ役をやらせて頂いております明円と申します。よろしくお願ひ致します。コロナ禍で苦しい思いもたくさんしてきましたが、今年は和幸園設立60周年という節目の年でもありまして、和幸園本来の行事を行っていきたく思っております。今、理事長からもありましたが、矢田では、とっても立派な大根が取れます。保育園の子供達も皆よろこんで泥んこになって楽しんでおります。皆様も、是非お越しになって、お土産に持って帰って下さい。また、今年は、デイサービス東青森を矢田デイサービスと一本化し、より厚いサービスを提供していく予定であります。今後共、和幸園を宜しくお願ひします。

<熊谷業務執行理事>

介護の在宅部門でしたり、ヘルパーやデイサービスの方でお世話をさせて頂いております。セントラルハウスでも、ヘルパーステーション和幸佃という事業所としてヘルパーが常駐しております、入居者の皆様がご自分のお部屋で、ご自分らしく暮らしていけるよう、今後もお手伝いをして参りたいと思っております。今後共、どうぞよろしくお願ひ致します。

<管理者より>

本日は、沢山の貴重なご意見をありがとうございました。

法人の運動会やセントラルハウスの夏祭りを行う際は、お声掛けいたしますので是非ともご参加いただければと思います。

それでは、懇談会を終了したいと思います。

お忙しい中、皆様お集り頂いてありがとうございました。